

これまでのニーズ調査等の整理

1. 平成18年度実施状況に関するフォローアップ調査結果報告書より

平成15-18年度に本モデル試験に申請した技術開発者73社、平成18年度実証機関を務めた13機関を対象に行われたアンケート調査の結果から、関連部分を以下に整理する。

事業全体（他技術分野を含む）で集計されているものについては、ヒートアイランド事業についての記載と思われる自由記入事項を抽出し、参考とすることとした。

(1) 事業や対象技術への要望・意見

- 通年を通した省エネ効果を検証する場合の条件見直しを検討いただきたい。
- 実証とはいうものの、実際にはシミュレーションによる評価になっている。フィルムの空調負荷低減装置や冬場の断熱効果・日射遮蔽の効用などについては、実測が必要。
- ウィンドウフィルムのほとんどが冷房負荷軽減を目的として開発されたものであるが、今回の実証試験では冷房稼働日数が短い。
- フィルムを貼ったときの反射状態を暗視野（夜）についてのみ、写真での評価であり、昼はどうか（室内外）が不足。
- エアコン室外機の顕熱抑制技術の実証試験において、エアコン自体を申請者が準備したため、各社が違う機種で行われた。そのため、その結果について他社との正確な比較ができなかった。

(2) 手数料について

- 技術開発者が、申請や試験の実施等に要した費用（人件費含む）は以下のとおり
（国庫体制であるため、装置持ち込み・設置・撤去費用、消耗品等の合計）

建築物外皮による空調負荷低減技術（N=7）	平均 8.9 万円（最高 35 万円）
室外空冷機から発生する顕熱抑制技術（N=3）	平均 124.0 万円（最高 200 万円）
- 技術開発者の、手数料支払い可能金額
（ヒートアイランド対策技術、VOC 処理技術、非金属元素廃水処理技術、閉鎖性海域における水環境改善技術の22企業による回答）

300 万円以上	0.0%
100-300 万円	0.0%
50-100 万円	7.1%
20-50 万円	14.3%
20 万未満	21.4%
これ以上の負担困難	0.0%
わからない、その他、無回答	57.9%

※自由記入より

- ・実証試験の内容によるが、ヒートアイランド対策の場合20万円程度で実際の作業はできると考えられる。（20万円未満なら負担可能である」を選択）
- ・実施方法がシミュレーションでなく実測ベースであれば、費用負担は50～100万未満程度まで可能。（「わからない」を選択）

(以上)